

QFN通信

Qshu Forest Network News

NPO法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 前理事長 佐藤宣子

6年を振り返って

第10号の九州森林ネットワーク通信(QFN)をお届けします。皆様ご健勝のことと存じます。9号発刊以降、間があいてしまい申し訳ございません。

既に総会資料などでお知らせしているところですが、本NPO法人の発足(2004年6月)から6年、前身の九州森林ネットワーク連絡協議会から足かけ9年間、理事長・会長を務めておりましたが、10月開催の総会で役を退かせて頂きました。この間、皆様に頼りない理事長を盛り立てて下さり、深く感謝申し上げます。

年に2回のフォーラムが主な活動でしたが、関係の皆様の努力によって様々なテーマで、様々な地で開催することができ、私自身、大学内での付き合いだけでは得られない様々な出会いと貴重な体験をすることができました。6年の活動の中で、第11回、12回のテーマとしたカーボンオフセット(J-VER)のクレジットを諸塚・小国・上津江の3つの山で取得できることになった点は当NPO活動の大きな成果だと感じております。しかし、山々とマチがしっかりと手を結んで、様々な山からの恵みを活かした山の豊かな暮らしとマチでの良質な家造りを実現するにはまだまだ多くの問題があります。近年、海外での木材需給が逼迫する中で、大規模なハウスメーカーが相次いで国産材利用にシフトして、自給率は高まっていますが、山村での暮らしを無視して、資源供給地としての役割だけが求められようとしていることに危惧も感じます。

そうした中で、幅広い方々とフラットに議論しうる当NPOの役割は、いっそう大きくなるものと確信しています。新北里理事長並びに諸塚村の新事務局体制での活動に私も監事役として微力ながら会の発展に尽くしていく所存です。今後ともNPO法人九州森林ネットワークの輪を広げる活動にご協力を賜りますようお願いして、退任の挨拶とさせていただきます。有り難うございました。



ネットワークキャラクター
「やまと熱人(ネット)」

第10号 since2005.6.1

発行日 2010.1.1

<発行>
NPO九州森林ネットワーク
本部：宮崎県諸塚村
<担当オフィス>



目次

第14回九州森林 フォーラムの報告	2~ 3
ネットワーク新理事 の紹介	4~ 5
第15回九州森林 フォーラムお知らせ	6

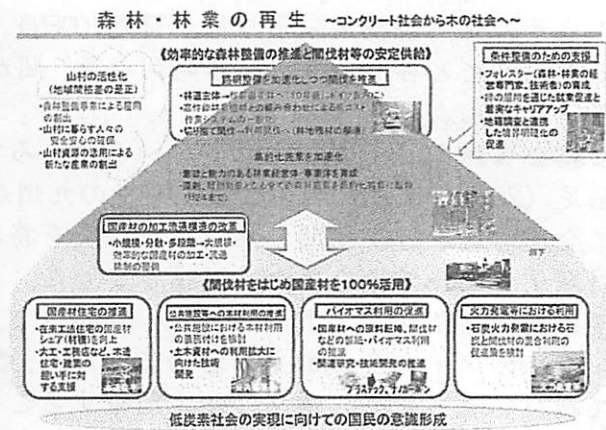
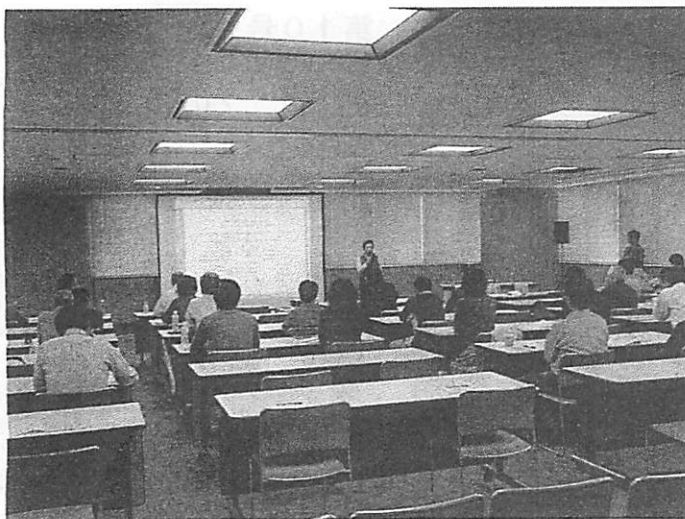
「リフォームの時代」と「地域材の時代」を重ねる

第14回を迎えた九州森林フォーラムは10月24日《日》福岡県中小企業振興センターにて開催されました。今回は「リフォームの時代」と「地域材の時代」を重ねると題し、リフォームと地域材のあり方について、九州各地の建築士・工務店・設計士・市町村・森林組合等から、約50名の参加があり、多くの方の意見を聞くことが出来ました。

■テーマについて解題

13:15~14:00

野池政宏氏（住まいと環境社代表）、西村敏彦氏（西村工務店代表）

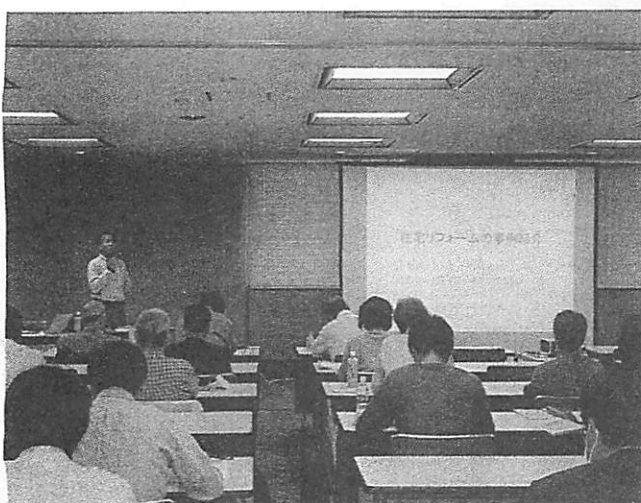


■事例発表

14:00~15:30

米谷良章氏（米谷良章設計工房代表）

「住宅リフォームの事例紹介」（事例紹介から、リフォームのポイントと住宅づくりと国産材の位置づけを整理する）



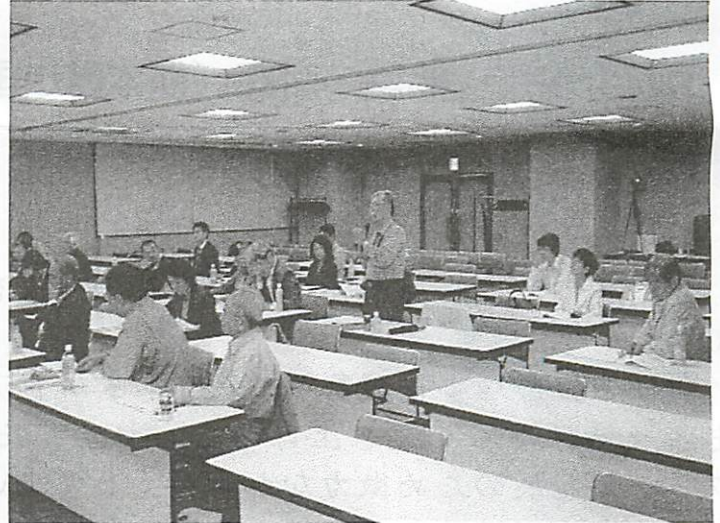
住宅と国産材利用

民家型構法の家

戦後、大量に植林された国産材を活用して、良質なストックになり得る住宅を建設するための、生産システムをつくる。

コーディネイト野池政宏氏、パネリスト川崎薫氏（川崎建築構造設計事務所代表）、松石淳一氏（松石マテリアル株式会社代表取締役社長）、西村敏彦氏、米谷良章氏

構造建築・大工・製材所の視点からリフォームや地域材について議論を行い、一般の方の質問も多く内容の濃いものとなりました。



■ ～参加者からのコメント～

・日本の戸建住宅のストックを効率的に再利用する方策として、有意義なヒントを与えていただきました。地道なリフォームの活動で、グレードの高いストックに直していくことに意義を強く感じました。地域の木材を（立派な銘木はないけれど）先々まで生かしていける方策を今後も大きな課題にして、乾燥の事、工事後のメンテナンスを含めて、検討して行きたいと思います。新築についてもリフォーム時期（20～50年）になる場合の躯体の簡潔性設備のメンテナンスの取組もより重要なテーマとすべきと思います。

（現在のコスト、工期にかたよった方針決定にも、指導的目標を提示して行く事も必要）

・いろいろな話が聞けて面白かった。

・参加者が林業・製材・工務店に限られているので残念。最も必要な議論の中心になるべきは流通部分ではないだろうか？

現状は諸塚や小国の材をブランド化して伝える、担保に頼るより他はないし、産地の協力が求められていると思う。製材業界の展望。どこまでも川上と川下を繋ぐ役割が求められ、必要とされていると思った。

新理事紹介

昨年10月の総会で、新しい理事が就任することが承認されました。今回は紙面を借りて各理事の自己紹介を掲載します。



①新理事長 北里 耕亮（熊本県小国町）

この度の定期総会を得て、理事長の大役をおおせつかることになりました北里です。

前任の佐藤理事長が多年に渡り本ネットワークを牽引し、各理事・会員のみなさまと一緒に築き上げてこられました実績等を踏まえ、さらなる本ネットワークの発展のため微力ながら尽くしてまいりたいと存じますので、みなさま方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、林業従事者の高齢化や担い手不足といった社会構造の変化に加え、材価の低迷、生産コストの上昇など、林業を取りまく環境は厳しい状況が続いておりますが、本ネットワークの設立目的であります、九州で生活するみなさま方に対して、森林の保全を始め、林業の育成、森林資源の有効活用、地域材住宅による良好な住環境づくり等に対する提案や問題提起を今後も行っていきたいと思っております。

さらには木の文化の復興等に関する事業も行い、九州の山村地域（川上地域）と町（川下地域）との、さらなるネットワーク形成のために、これからも「九州森林フォーラム」の開催や、木材の適正な流通と活用によつての、水源の涵養、空気の浄化、国土の保全といった多益的・公益的な機能を九州の森林が高め、森林資源を有効に活用し、持続可能な森林経営を目指し、木の文化を後世に残す事を念頭に、活動してまいります。

今年5月に鹿児島県屋久島において、「第15回九州森林フォーラム」を開催いたしますので、多数の方のご参加をお待ちするとともに、屋久島でお会いできることを楽しみにしております。

今後とも、各理事・会長のみなさま方のさらなる、ご支援、ご協力のほどを、よろしくお願い申し上げ、理事長就任のあいさつとさせていただきます。

②新副理事長 渡邊 雄一郎 (株式会社トライ・ウッド)

この度、九州森林ネットワーク副理事長に就任いたしました株式会社トライ・ウッドの渡邊と申します。

弊社は、大分県日田市上津江町(旧上津江村)にて、『後世に残そうかけがえのない森林(みどり)』をテーマに、経済と環境が両立した林業の実現を目指しています。

九州森林ネットワークを通じて、多くある林業の問題点や山林の潜在的な価値が顕在化され、いくつかの方向性が示せればと思っています。

微力、若輩ではございますが、皆様に色々と教えていただきながら職務を遂行していきたいと思っております。

ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

③新理事 森 順子 (福岡市 ふくおか森づくりネットワーク)

私の生まれた町では「黒煙は天にみなぎり エンジンは大地に撼(ふる)ふ」と、市歌のなかで工場排煙を繁栄の象徴として謳歌していました。そんな森も川も遠い場所がふるさとだったからなのか、森に惹かれ、15年ほど前に里山保全のボランティア活動に参加するようになりました。その体験を通じて、それまでの「多様性をそこなう人工林」という見方から「1000万haに植林した先人たちの偉業」と感じるようになり、同時に、山には変わらなければいけないものもあるとも思うようになりました。

素人の私にできることは、自分がそうであったように、都市側に「森林リテラシーの向上」の場を提供すること。本会の川上から川下までのネットワークの中で学ぶことは多いと思っております。宜しくご指導ください。

④新事務局長 松村 紀三男 (宮崎県諸塚村役場)

この度の定時総会でみなさんの仲間入りをさせていただきました。事務局長という大役を受け持つことになりました。

私事ではありますが、今まで森林整備や林道、作業道の開設、また、近年は、カーボン・オフセット申請等に携わり、山側の一員として時代の流れを感じているところです。この機会を活かして木材産業の知識をより深め、このネットワークをみなさんと盛り上げていけるよう努力する所存ですのでどうぞよろしくお願い致します。



★第15回森林フォーラムin屋久島のお知らせ★



■日 程：平成23年5月13日（金）～14日（土）

■会 場：鹿児島県屋久島町

■テーマ：「島の森と生きる」～自然の豊かさと共存する暮らし～

九州各地の林産地と町をつなぐ活動を進めてきた森林ネットワークが、始めて海を渡り、島に入ります。森林を活用する林業の島で、世界遺産の島でもある屋久島。かけがえのない貴重な資源に対峙し、環境保全と林業活性化、観光利用をいかに両立させるかという、根源的な問題を議論します。

屋久島の素晴らしさとは何か、その良さを知り、それを活かす生活について島民の皆さんとともに、考えてみましょう。

■主 催：NPO 法人 九州森林ネットワーク

■共 催：九州森林管理局、屋久島町、屋久島大屋根の会

■後 援：鹿児島県、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、佐賀県、長崎県、うきは市、小国町、諸塚村、小国町森林組合、耳川広域森林組合ほか（すべて予定）

■参加費：フォーラム1,000円（会員無料）

■締 切：4月10日（木）

■プログラム 13日（金）13時 宮之浦港フェリーターミナル集合
「屋久杉を見る」～17時

18時 地域交流会（会費3,000円）

宿泊：ホテル屋久島山荘（7,500円）

14日（土）9時～15時 九州森林フォーラム

基調講演①「持続可能な森林管理と地域社会」

講師：（社）日本森林技術協会 藤森隆郎氏

基調講演②「屋久島における世界自然遺産登録の意義と課題」

講師：国立歴史民俗博物館 準教授 柴崎茂光氏

パネルディスカッション

兵頭昌明氏、岩山鶴美氏、濱田秀一郎氏、浦田功氏ほか

■問合先 NPO九州森林ネットワーク事務局（諸塚村企画課内）

Tel0982-65-1116 FAX0982-65-0032

屋久島大屋根の会 Tel0997-42-0138

FAX0997-42-1846



ネットワークキャラクター
「やまと熱人(ネット)」